

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報																			
位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																			
事務事業名	水海道あすなろの里運営管理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	6	項	1	目	7	事業	1
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農政	係	作成者	田中 佑一	内線(電話番号)	2310	シート作成日	H30.5.24	部長決裁日	H30.10.24					
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称 :)											

2 事務事業の目的																		
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																		
現状課題	建築から約40年が経過し、老朽化のため、ほぼすべての施設で修繕が必要な状況で、予算の都合上、優先順位の高いものから順次改修を進めている。 誘客のための新規施設・設備にまで予算が回せない状況。 来園者数が平成23年以降、5万人前後で推移しており、いかに誘客拡大するかが課題となっている。			誰・何を対象に	来園者数の増加			どのような方法・手順で	プロジェクトチームを立ち上げ、イベントのリニューアル、PR、新規ニーズの掘起し等、様々な角度から誘客手法を検討し、3年後の来園者20%増を目指す。						望ましい状態	イベント等に参加した来園者にあすなろの里の魅力を知ってもらい、リピーターになってもらうとともに、SNS等で魅力を紹介してもらうことでリピーターがリピーターを呼ぶ形になるのが望ましい。		

3 事務事業の主たる成果指標														
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	来園者数	単位	人	目標値	6.5万人	目標年次	平成 33 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	現状の5.4万人から20%増の6.5万人を目標とする。					

4 事務事業の実績 ㉑																				
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度													
	業務名			業務名			業務名													
	活動量			活動量			活動量													
事務事業を構成する主な業務	①	一般財団法人水海道あすなろの里への管理運営委託			①	一般財団法人水海道あすなろの里への管理運営委託			①	一般財団法人水海道あすなろの里への管理運営委託										
	②	一般財団法人水海道あすなろの里と協力してイベント開催			5回	②	一般財団法人水海道あすなろの里と協力してイベント開催			6回	②	一般財団法人水海道あすなろの里と協力してイベント開催								
	③	ワーキングチームで今後のあすなろの里の在り方を検討			1回	③	ワーキングチームで今後のあすなろの里の在り方を検討			2回	③	ワーキングチームで今後のあすなろの里の在り方を検討								
	④					④					④	大学合宿誘致活動								
	⑤					⑤					⑤	パンフレットの刷新、SNSを利用したPR活動								
	⑥					⑥					⑥									
	⑦					⑦					⑦									
	⑧					⑧					⑧									
	⑨					⑨					⑨									
	⑩					⑩					⑩									
	⑪					⑪					⑪									
	⑫					⑫					⑫									
目標値に対する実績値		41000		人	目標値に対する実績値		54884		人	目標値に対する実績値		53922		人						
決算額	計	107,941,223	円	内訳	特定財源		円	一般財源	107,941,223	円	計	96,496,015	円	内訳	特定財源		円	一般財源	96,496,015	円
	(住民一人あたりの行政コスト)		1,745		円	(住民一人あたりの行政コスト)		1,504		円	(住民一人あたりの行政コスト)		1,596		円					

5 担当者評価 ㉒													
実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	ほぼ目標どおり	成果内容	29年度については、イベントの開催、PR活動等の活動を実施し、例年並みの来園者であった。										
問題点	以前より、あすなろの里の在り方については検討され、いろいろな案が出ていたが、実行されることなく現在に至ってしまっている。 今回のプロジェクトで決定した事項については確実に実行までもっていき、誘客拡大につなげていく。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓													
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	今年度よりプロジェクトチームが立ち上がり、誘客拡大を目標に様々な企画を立ち上げ検討しPRも含め強化して行くことは、市の重要施設としてイメージアップを図るうえで有効と考える。事業の拡充を図り推進してほしい。												

7 実施計画 ㉔													
今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度						
事業内容	・一般財団法人水海道あすなろの里への管理運営委託 ・一般財団法人水海道あすなろの里と協力してイベント開催 ・ふるさと納税返礼品にあすなろの里利用券を新設 ・物産館の設置 ・あすなろ誘客プロジェクトチームの発足 イベントのリニューアルや新規イベント開催 ホームページ、パンフレットのリニューアル 入場料無料化に向けた実証実験(定期的な無料日を設定) 入場料無料化を含めた県自然博物館とのタイアップ検討 キャンプサイトの再編準備 大学・企業合宿誘致			・一般財団法人水海道あすなろの里への管理運営委託 ・一般財団法人水海道あすなろの里と協力してイベント開催 ・ふるさと納税返礼品の継続 ・あすなろ誘客プロジェクトチーム イベントのリニューアルや新規イベント開催 ホームページ、パンフレットのリニューアル 入場料無料化に向けた条例改正・無料化実施 県自然博物館とのタイアップ キャンプサイトの改修 大学・企業合宿誘致 自動販売機設置の入札化 食堂運営の公募化 建築物定期報告調査業務(防火設備)毎年義務化			・一般財団法人水海道あすなろの里への管理運営委託 ・一般財団法人水海道あすなろの里と協力してイベント開催 ・ふるさと納税返礼品の継続 ・あすなろ誘客プロジェクトチーム イベントのリニューアルや新規イベント開催 ホームページ、パンフレットのリニューアル 入場料無料化実施 県自然博物館とのタイアップ キャンプサイトの改修 大学・企業合宿誘致 ロッジの改修 オートキャンプ場の整備 建築物定期報告調査業務(防火設備)毎年義務化						
	予算額	歳出	計	98,655	千円	歳出	計	116,317	千円	歳出	計	100,000	千円
			特定財源		千円		特定財源		千円		特定財源		千円
		歳入	一般財源	98,655	千円	歳入	一般財源	116,317	千円	歳入	一般財源	100,000	千円
	計	98,655	千円		計	116,317	千円		計	100,000	千円		

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、5～10年先を見越した中長期的な収支計画を立てるべきである。また、県自然博物館とのタイアップ等誘客手法を検討されているが、魅力あるイベント(月1回の朝市、グルメ大会等)で、出品者と客を勧誘できるような催しに期待する。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	今後も常総市の観光地の一つとして継続すべき施設であり、今年度よりプロジェクトチームによる様々な企画、検討しているところである。試行的な入場料無料化や県自然博物館とのタイアップなど、イベント及び施設の改善により誘客拡大を図るべきである。												

11 事務事業の改善理由 ㉖													
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	30年度に入園料無償化実験を実施し、その結果をもとに来年度中の常時無料化に向けた条例改正を実施し、合わせて体験料、施設利用料の見直しも行います。 故障個所の改修だけでなく、オートキャンプ場等の新規客獲得に向けたプラスの施設改善を実施してまいります。												